



東部中学校章

東部中学校 教育目標

生き生きとした活力ある学校生活を送らせるなかで、社会の変化に主体的に対応できる「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒を育てる。



「光は東より」

目指す生徒像

自ら学ぶ生徒(知)

- ・積極的に学ぶ
- ・他と協力して活動する

こころ豊かな生徒(徳)

- ・命を大切にする
- ・思いやりの心をもつ

たくましい生徒(体)

- ・自らの体力向上に努める
- ・健康・安全に関心をもつ

学校経営方針

ア 規則正しく、こころ豊かな生徒の育成

- ・安心して学べる環境の整備に努め、確かな学力、学ぶ意欲を育てる。
- ・共働、共感の喜びが得られる活動を推進し、集団における規範意識、連帯感を育てる。
- ・生徒主体のボランティア活動を推進し、他者のために働こうとする意欲と実践力を育てる。

イ 確かな学力の保障と教職員の資質向上

- ・わかる喜び、できる楽しさを意識した授業改善に努めるとともに、校内現研の充実を図る。
- ・個に応じたきめ細やかな支援・指導とともに家庭学習の充実を図る。
- ・各種の研究大会や自主的研究活動に積極的に関わり、指導力の向上に努める。

ウ 生徒の育成につながるチームとしての学校づくり

- ・家庭や地域への情報公開を進め、教育活動への理解と協力を得る。
- ・学校評価の取り組みを推進し、教育活動の改善につなげる。
- ・地域人材の支援を得た魅力ある学びの場を通して、地域の連帯感を高める。

○ 規則正しく、こころ豊かな生徒の育成を図る

- ◇個の尊重とともに集団生活、集団行動の徹底による人間教育
 - ・生徒個々の活躍場面、居場所の確保、部活動の充実
 - ・規範意識を高めるための全体指導～生徒指導部を軸
 - ・生活三則の徹底を図る
- 「①時間を守る②挨拶をする③掃除をする」
- ・生活サポート委員会による支援、いじめ防止対策の徹底
- ◇生徒の主体性を柱とした特別活動の充実
 - ・あいさつ運動、TNPの活動拡充
 - ・生徒会の提案を尊重した諸活動～「生徒主体の東部中」
- ◇学校不適応生徒への支援
 - ・個に応じた支援、グリーンルーム
 - ・保護者との連携を推進
 - ・SCとの連携
 - ・関係機関との連携

本年度の重点努力目標

ア 学習指導

- ・落ち着いた学習環境を整えるとともに、創意工夫のある「わかる、できると感じる授業」の展開に努める。
- ・全職員で行う各教科の学習指導の方法に関する研修と実践を進める。
- ・指導と評価が一体化した授業の展開から生徒の関心と意欲の向上を図る。
- ・生徒の個性・能力に合わせた習熟度別の宿題（質や量を考慮する）を整える。



イ 特別活動

- ・あらゆる教育活動の基盤となる学級経営の充実を図る。
- ・達成感が感得できる学年・学校行事を創造・継承・発展させることで、行事だけでなく生活全体へ「生徒の主体性」を浸透させる。

ウ 生徒指導

- ・生徒の実態に応じた厳しくとも温かい指導を通して、思いやりと節度のある生徒を育てる。
- ・相談活動を充実させ、円滑なコミュニケーションがとれる生徒を育てる。
- ・各種行事や委員会活動・道徳・部活動等によって、個性の伸長や豊かな情操の育成に努める。
- ・不登校生徒に対して、「学校は、楽しくて安心できる場所」との考えのもと、教育活動を推進する。

エ 健康教育と安全指導

- ・計画的に学校保健委員会を開き、保健指導や避難訓練等を通して、適切な自己管理や危機管理に対応できる生徒を育てる。
- ・安全指導を通して、交通マナーの徹底、交通事故の防止に努める。

○ 教職員の資質向上への積極的な取り組み

- ◇落ち着いた学習環境創意ある授業展開
 - ・学習規律の定着の徹底
 - ・教室・廊下の環境整美
- ◇授業力の向上と外部教育活動との関連を図る
 - ・指導力と人間力の向上
 - ・研修会、研究発表会への積極的な参加
- ◇現職教育の充実
 - ・基本研修への取り組み
 - ・OJTの活性化
 - ・若手教員の育成重視
 - ・GIGA スクールの推進
- ◇キャリア教育への取り組み
- ◇道徳教育の拡充
- ◇環境教育の継続
 - ESD 教育、1ねじり活動
- ◇学年・学級経営の基盤確立
- ◇国際教室日本語指導
- ◇特別支援教育の充実
 - ルノド 学級での丁寧な指導



東部中マスコット「とうふー」

○ 保護者、地域に開かれた教育活動

- ◇地域、家庭への積極的な情報の提供
 - ・学年通信、学校だよりの充実
 - ・HPの充実
 - ・校区の小学校や教育機関との連携

東部中学校区青少年健全育成会、TNP（東部校区ナンバー1プロジェクト）会議

- ◇地域教育ボランティアの活用拡大
 - ・福祉体験、TCCでの積極的な活用
 - ・学校ボランティアの新規募集の実施
 - ・学校運営協議会からのアドバイス

◇学校マネジメントの活用

- ・PDCAサイクルによる検証
- ・学校評価、各種アンケート実施
- ・PTAとの強固な協力体制構築